

磁気テープ活用による「データセンターの脱炭素化」の実現に貢献 富士フイルム 電子情報技術産業協会「Green x Digital コンソーシアム」に参画

2021年10月19日

富士フイルム株式会社は、一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) が設立した「Green x Digital コンソーシアム」に参画したことをお知らせいたします。

調査会社の国際データコーポレーション (IDC) によると、データ量の増大によりエネルギー消費量が増加し、CO₂ 排出量の増加も招くことが報告されています^{※1}。

磁気テープは、大容量データを低コストで安全に長期保管できることに加え、特にデータの保管時に常時通電する必要がないことから、環境負荷を大幅に低減するデータストレージソリューションとして注目されており、IDC が発行するホワイトペーパーにおいても、磁気テープストレージを活用していくことの必要性が提言されています。

JEITA は今後「Green x Digital コンソーシアム」の中で「データセンターの脱炭素化」をテーマとしたワーキンググループの設置を検討することを公表しています。当社は、本コンソーシアムにおいて、環境負荷を大幅に低減することができる磁気テープストレージの活用を提案し、データセンターの関連事業者やユーザーをはじめ、関連企業や電力会社などとともに、「データセンターの脱炭素化」の実現を推進していきます。

当社は、世界シェア No.1^{※2} のコンピューター用磁気テープメーカーとして、お客さまのニーズと信頼にお応えする高性能・高品質のメディアやサービスを開発・提供し、IoT・DX の進展に伴い急増するデータストレージ需要に応えるとともに、データセンターの脱炭素化の実現など世界的に対応が急務となっている CO₂ 排出削減に貢献していきます。

■ JEITA について

JEITA は、Society5.0^{※3} に向けた社会課題を解決するためにあらゆる産業を繋げ、IT/エレクトロニクス産業を中核にしたステークホルダーを結節するプラットフォームを実現する業界団体です。

■ 「Green x Digital コンソーシアム」について

JEITA は、企業のカーボンニュートラル化と産業・社会の変革につながる新たなデジタルソリューションの創出・実装を推進するため、「Green x Digital コンソーシアム」を 2021 年 10 月 19 日に設立しました。本コンソーシアムでは、環境関連分野のデジタル化や新たなビジネスモデルの創出等に係る取り組みを通じて、日本の関連産業が世界のグリーン市場を牽引することを目指し、活動していきます。

■ 磁気テープについて

昨今、5G と高精細な 4K・8K 映像の登場や IoT・DX の進展、AI を用いたビッグデータ解析の普及などにより、世の中のデータ量は爆発的に増加しています。それにつれてデータの利用や保管のために消費される電力も増大し CO₂ 排出量増加に繋がるため、大手データセンターでは、電力需要を再生可能エネルギーで賄う取り組みなどを進めています。一方で 2017 年から 2020 年にかけて世界の主要なデータセンター事業者が消費する電力は平均で 31% 増加^{※1} しており、再生可能エネルギーへのシフトだけではなく、電力消費を抑えることで CO₂ 排出量を削減する施策の必要性も高まっています。磁気テープは、データの保管時に常時通電する必要がないことから、ハードディスクドライブ (HDD) に比べてデータ保管において発生する CO₂ の排出量を 95% 削減でき^{※4}、環境負荷を大幅に低減することからデータセンター脱炭素化の実現に貢献する製品として注目されています。

■ IDC によるホワイトペーパーについて

IT および通信分野に関する調査会社である IDC は、増加するデータ量に対応していくための、サステナブルなデータセンターの在り方に関する調査をまとめたホワイトペーパー「Accelerating Green Datacenter Progress with Sustainable Storage Strategies」を発表しました。

本ホワイトペーパーを、当社特設サイトにて公開しました。「Accelerating Green Datacenter Progress with Sustainable Storage Strategies」を特設サイトでダウンロードいただけます。

URL : <https://www.fujifilm.com/jp/ja/business/data-management/datastorage/eco-friendly>

※1 出典 : IDC “Accelerating Green Datacenter Progress with Sustainable Storage Strategies”

※2 生産者シェア、当社調べ。

※3 サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)。

※4 出典 : Brad Johns Consulting, LLC “Improving Information Technology Sustainability with Modern Tape Storage”